



ビジネスメール詐欺の新手口

実在する企業の役員等を騙り、**ビジネスツールのチャット機能**を使い**送金指示をする**という新たな手口が確認されています。

社長

社長 太郎 19:45

自社の社長などを騙る

例

取引先に送金する必要があるのですが、企業口座から送金できませんでした。

必要なお金を一旦あなたの個人口座に振り込むので、指定した口座にそのお金を振り込んでください。

〇〇銀行	本店
普通	12345678
件数	1
振込金額合計	5,000,000

振込み完了画面のスクリーンショットなどで信用させる

自分 確認しましたが、私の口座に入金されていませんか？

社長 送金額が大きいので反映に時間がかかっているのでしょうか。こちらは既に引き落としが完了したとなっています。先方が急ぎで送金してほしいようなので、立て替えて送金してもらえませんか。

この後、相手が指定する口座にお金を振り込むと、さらに送金を促されたり、相手と連絡が取れなくなってしまいます。

防犯ポイント

もしこのような連絡が届いたら...



- 送信元に**メール以外の方法で確認**する（電話など）
- 特に「**送金**」「**至急**」などのメールやメッセージのときは、**不自然なところがないか確認**する
- 添付ファイルやリンク先を不用意に開かない
- ウイルス対策ソフト、OSを最新の状態に更新する
- ビジネスメール詐欺が発生していることを組織内外で情報共有する

サイバーセンター公式「X」(旧Twitter)

兵庫県警察サイバーセンターではX（旧Twitter）で、サイバー犯罪やサイバーセキュリティの情報をいち早くお届けしています。

https://x.com/HPP_c3division

